

ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン株式会社

**GfK Certified DVD Software 2007発表**

ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン株式会社(東京:中野区)は、同社が実施している小売店パネル調査の結果より、暦年でもっとも販売数量の多かったメーカーを表彰する「GfK Certified DVD Software 2007」を発表しました。( 1)

同社は、全国の有力DVDソフト取扱店からPOSデータを収集し、これを統計的な手法に基づき全国市場規模相当に拡大推計しています。( 2)本発表は2007年1月1日～12月31日の販売実績を合算集計した結果に基づいています。

( 1) 例年実施の家電カテゴリーは1月25日に発表済み

参考URL : <http://www.gfkjpn.co.jp/certified/index.html>

( 2) CD・DVDの販売店/レンタル店、家電量販店、GMS、およびEコマースでの販売を集計。コンビニエンスストア、玩具店、書籍店の販売は集計に含んでおりません。

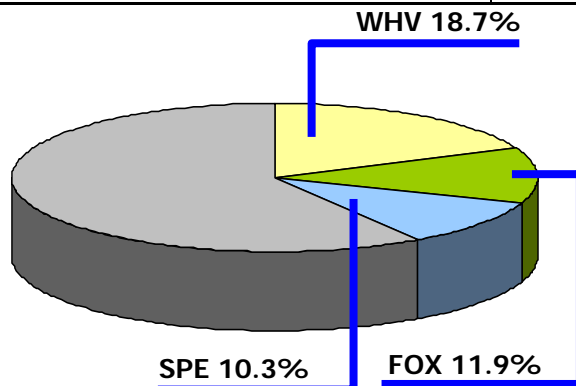
**【映画部門】**

米国ハリウッド最大手映画会社のワーナー・ホーム・ビデオ (WHV) が映画部門で首位を獲得。コアなファンを獲得した「ハリー・ポッター」シリーズが旧作も含めて売上を牽引した。

「硫黄島からの手紙」、「300」、「オーシャンズ13」等、新作のリリースも好調な売上を記録。一方、ワーナーの保有する豊富な旧作映画も売上に貢献している。

映画部門で2007年に販売されたワーナーのタイトル数は、実に2,985もあり、このうち再販タイトルが2,765を占める。ちなみに2位の20世紀フォックスは販売タイトル数2,297、そのうち再販タイトルは2,173、他は2,000以下となっている。

順位	メーカー(発売元)	年間シェア
1	ワーナー・ホーム・ビデオ	18.7%
2	20世紀フォックスホームエンターテインメント	11.9%
3	ソニー・ピクチャーズエンタテインメント	10.3%

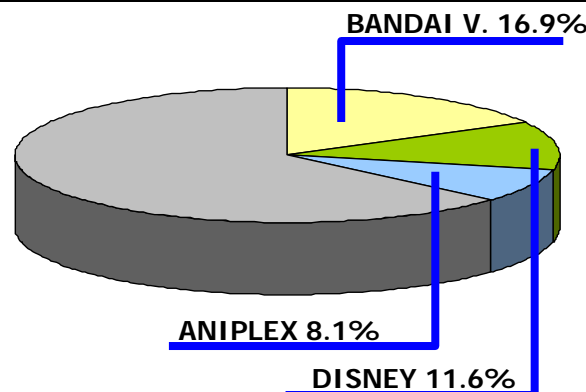
**【アニメ部門】**

バンダイビジュアルが、同社の代名詞「ガンダム」シリーズの売上好調で首位を獲得。Boxもの、劇場版等、複数の「ガンダム」タイトルが人気を博したことに加え、TVコマーシャルで注目度を高めた「FREEDOM」シリーズも強力なコンテンツとして地位を確立した。

また、バンダイは品揃えの豊富さも他を圧倒した。2007年に販売されたバンダイのタイトル数は1,158もあり、2番目に多いアニプレックスの604タイトルを大きく上回った。

2位のウォルト・ディズニーは、タイトル数こそ384と多くはないが、個々のディズニーアニメに大きな支持を得ていることが実証された。

順位	メーカー(発売元)	年間シェア
1	バンダイビジュアル	16.9%
2	ウォルト ディズニー スタジオ ホーム	11.6%
3	アニプレックス	8.1%



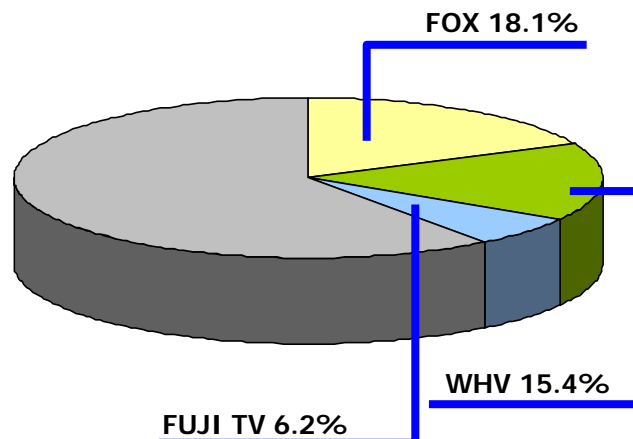
## 【ドラマ部門】

07年のTVドラマ市場は数量ベースで堅調に推移した。「24」シリーズや「プリズン・ブレイク」シリーズなど海外ドラマが牽引役となり、その立役者である20世紀FOXが首位を獲得。

多くの人気作品を輩出し、「ドラマのFOX」として地位を確立した。

2位には圧倒的なタイトル数を誇るワーナー、3位にフジテレビジョンが続いた。フジテレビは「のだめカンタービレ」などが好調だった。

順位	メーカー(発売元)	年間シェア
1	20世紀フォックスホームエンターテインメント	18.1%
2	ワーナー・ホーム・ビデオ	15.5%
3	フジテレビジョン	6.2%



## 【07年販売数量No.1タイトル】

2007年で最も多くの販売されたタイトルは、ウォルト・ディズニー社「パイレーツ・オブ・カリビアン/ワールド・エンド 2-Disc スペシャル・エディション」。

順位	タイトル名	メーカー(発売元)	発売年月日
1	パイレーツ・オブ・カリビアン ワールド・エンド 2-Disc スペシャル・エディション	ウォルト ディズニー スタジオ ホーム エンターテイメント	2007/12/5

発売からわずか1ヶ月で2位の「ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 <期間限定生産>」の1.5倍超もの数量を売り上げた。また、1年前にリリースされた前作「パイレーツ・オブ・カリビアン/デッドマンズ・チェスト」が3位に位置しており、本シリーズおよびジョニー・デップに対する圧倒的な支持がうかがえる。

チャンネル別ランキングでは、メディアストア(CD/DVDショップ+レンタルショップ)、家電量販店、E-Commerceの3チャンネルにおいて、「パイレーツ・オブ・カリビアン/ワールド・エンド」がトップ。唯一、総合量販店(GMS+ホームセンター+ディスカウントストア)では、ワーナーの「ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団」が売上No.1となっている。

「パイレーツ・オブ・カリビアン/ワールド・エンド」と比較すると、千円ほど価格が安く、家族連れや子供がより手に取りやすい価格設定だったことが一因と考えられる。

## 本レポートに関するお問い合わせ先：

ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン株式会社  
マーケット・インテリジェンス部 藤野

tel : 03-5350-4629  
email : info@gfkjpn.co.jp